

事例18

< 事例概要 >

投与準備時に用量間違いがあり過量投与に至った

モルヒネ塩酸塩注射液 50 mg（モルヒネ塩酸塩水和物）：麻薬

- ・ 60 歳代、閉塞性肥大型心筋症
- ・ 心臓カテーテル治療および術後疼痛管理のため、介助者は通常使用していた規格（10 mg / 1 mL）より多いモルヒネ 50 mg / 5 mL を処方した。術中、術者から「モヒ 2.5 言って」と指示があり、看護師は「塩酸モルヒネ 50 mg の半分ですね」と復唱したが医師らに聞こえておらず、投与直前に「モヒ 2.5 言っていいんですか」と確認。術者から「いいよ、2.5 言って」と返答があり、2.5 mL（25mg）を静脈内注射。
- ・ 投与直後、呼吸停止となり、心室細動のため胸骨圧迫、電氣的除細動などを施行。心拍再開するが、約 2 週間後に死亡。
- ・ 死因は、モルヒネの過量投与による呼吸停止、心室細動。死亡時画像診断（Ai）無、解剖有。